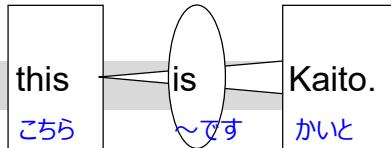


◆ Ms. Cook, this is Kaito.

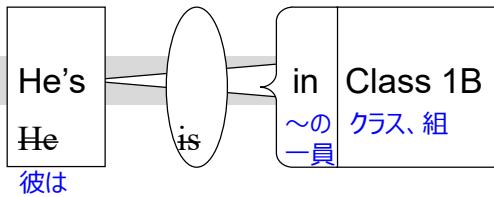
クック先生、こちらはかいとです。



◆ this : {自分から近くにいる人、物を指して} こちら、これ  
 ※ Ms. ~ : {女性に対して} ～さん、～先生  
 Mr. ~ : {男性に対して} ～さん、～先生

◆ He's in Class 1B.

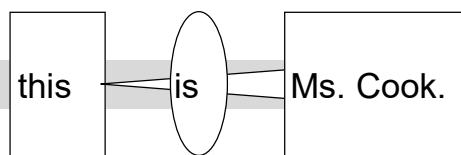
彼はクラス 1B の一員です。



◆ he : {既に言及された男性について言う時} 彼は  
 ※ he's : he is の短縮形  
 ※ in ~ : {所属} ～の一員； {空間} ～の中に

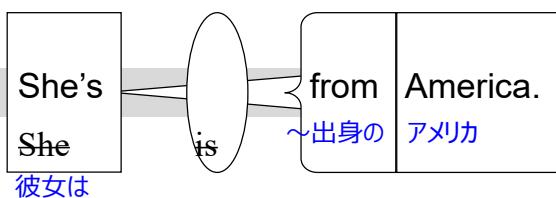
◆ Kaito, this is Ms. Cook.

かいと、こちらはクック先生です。



◆ She's from America.

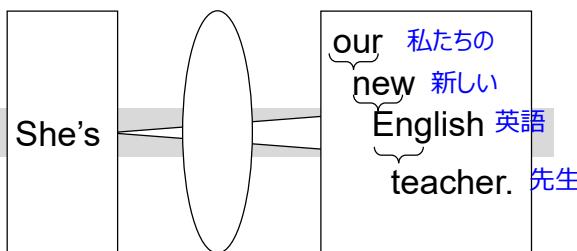
彼女はアメリカ出身です。



◆ she : {既に言及された女性について言う時} 彼女は  
 ※ she's : she is の短縮形  
 ※ from ~ : {空間} ～から； {出身} の

◆ She's our new English teacher.

彼女は私たちの新しい英語の先生です。

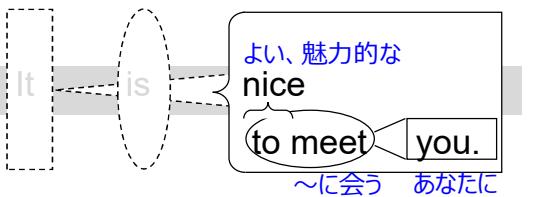


◆ Hello, Ms. Cook.

こんにちは、クック先生。

◆ Nice to meet you.

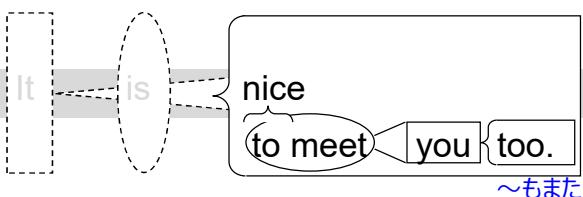
あなたにお会いしてうれしいです。(はじめまして。)



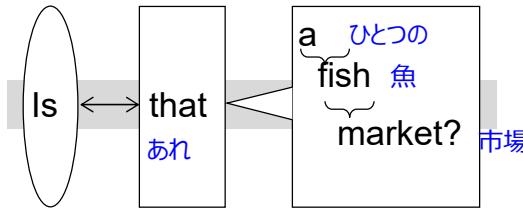
※ to meet : 会つて  
 {不定詞 原因を表す用法} “to [動詞原形]”

◆ Nice to meet you, too.

あなたにお会いするのもうれしいです。(はじめまして。)



## ◆ Is that a fish market? あれは魚市場ですか?



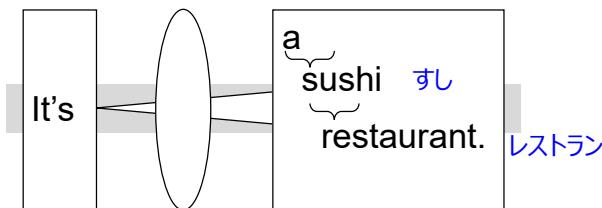
◆ that : {自分から遠くにいる人、物を指して} あちら、あれ

## ◆ No, it's not. いいえ、ちがいます。

※ it's : it is の短縮形  
isn't : is not の短縮形

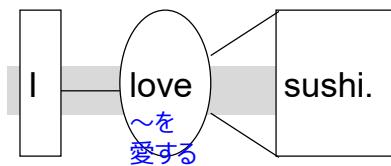
No, it's not. = No, it isn't.  
= No, it is not.

## ◆ It's a sushi restaurant. それはすしレストランです。

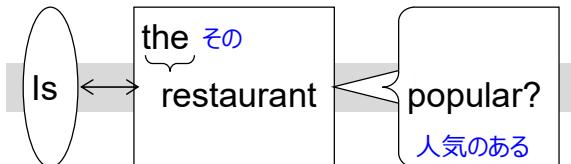


◆ it : {既に言及された物(人以外)について言う時} それは

## ◆ Wow. I love sushi. わあ。私はすしが大好きです。



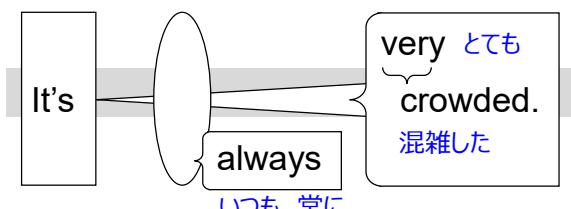
## ◆ Is the restaurant popular? そのレストランは人気がありますか?



※ the ~ : {文脈・状況から皆が特定できるものを指し} その~

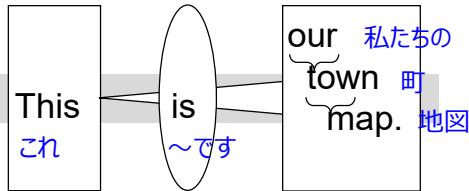
## ◆ Yes, it is! はい、そうです！

## ◆ It's always very crowded. それはいつもとても混んでいます。



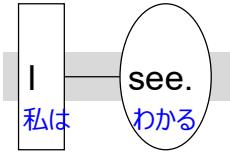
※ 状態の頻度を説明する always などは、動詞 (be動詞) の後に置く

◇ This is our town map. これは私たちの町の地図です。

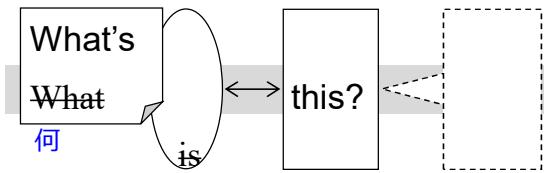


※ this : {自分から近くにいる人、物を指して} こちら、これ

◇ I see. (私は) わかります。 → なるほど。

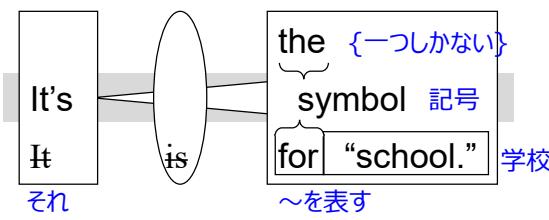


◆ What's this? これは何ですか。



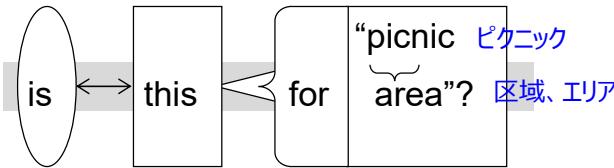
◆ あるものが何かを質問するには、  
 ① : 聞きたい部分を what に換えて文の始めに置き、  
 ② : 質問する文の語順にする。  
 (be動詞の文なら動詞と主語を入れ替える)  
 ※ what's : what is の短縮形

◆ It's the symbol for "school." それは「学校」を表す記号です。

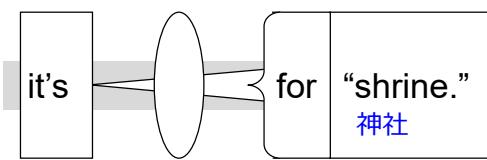


※ it : {既に言及された物(人以外)について言う時} それは  
 ※ it's : it is の短縮形  
 ※ the ~ : {一つしかないものを指し} ~ \* the は特に訳さない；  
 {文脈・状況から皆が特定できるものを指し} その～  
 ※ for ~ : {意味} ~を表す； {空間} ～に向けて

◇ Oh, is this for "picnic area"? あら、これは「ピクニック区域」を表しますか。

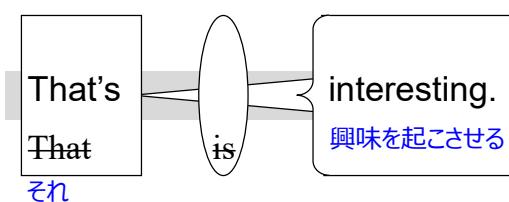


◇ No, it's for "shrine." いいえ、それは「神社」を表します。



◇ Really? 本当に？

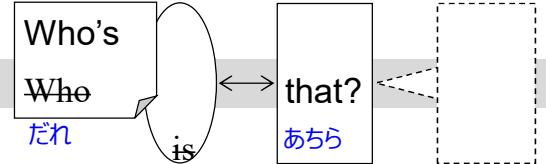
◇ That's interesting. それは興味を起こさせます。 → それは面白いです。



※ that : {既に言及された人、物、考え方などを指して} それ；  
 {自分から遠くにいる人、物を指して} あちら、あれ  
 ※ that's : that is の短縮形

## ◆ Who's that?

あちらはだれですか？



◆ 人物がだれかを質問するには、

①：聞きたい部分を who に換えて文の始めに置き、

②：質問する文の語順にする。

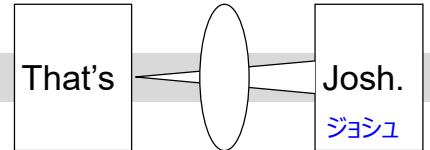
(be動詞の文なら動詞と主語を入れ替える)

※ who's : who is の短縮形

※ that : {自分から遠くにいる人、物を指して} あちら、あれ

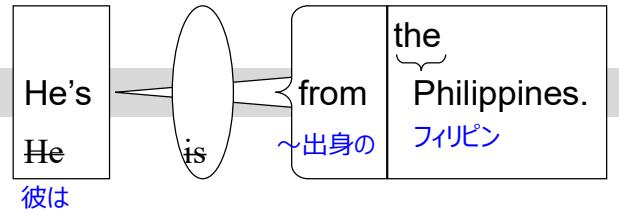
## ◆ That's Josh.

あれはジョシュです。



## ◆ He's from the Philippines.

彼はフィリピン出身です。



※ he : {既に言及された男性について言う時} 彼は

※ he's : he is の短縮形

※ from ～ : {空間} ～から ; ～出身の

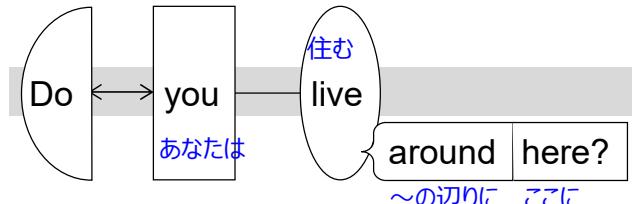
※ the Philippines : the ～の形で地名・国名となっている場合あり

## ◆ Hey, Josh! Good morning!

やあ、ジョシュ。おはよう。

## ◇ Do you live around here?

あなたはここの辺りに住んでいますか。



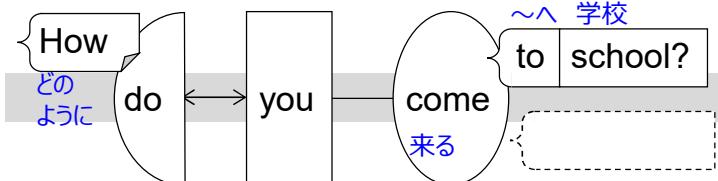
※ around ~ : {空間} ～の辺りに、～の近くに； ～のまわりに

## ◇ Yes, I do.

はい、そうです。

## ◆ How do you come to school?

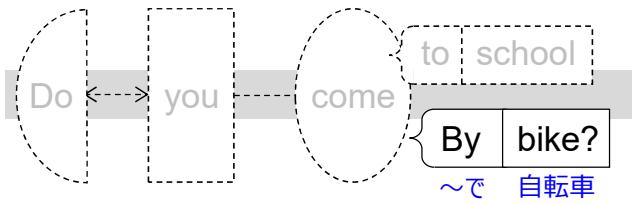
あなたはどのように学校に来ますか。



- ◆ 交通手段などについて、どう・どのようにと質問するには、
    - ① : 聞きたい部分を **how** に換えて文の始めに置き、
    - ② : 質問する文の語順にする。
- (be動詞以外の文なら“do”を主語の前に入れる)  
 ※ to ~ : {空間} ～へ

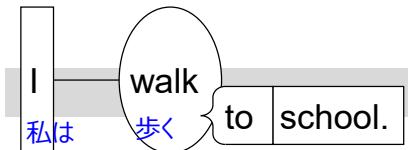
## ◇ By bike?

自転車ですか。

※ by ~ : {手段/方法} ～で； {空間} ～のそばに  
 例 : stand by me

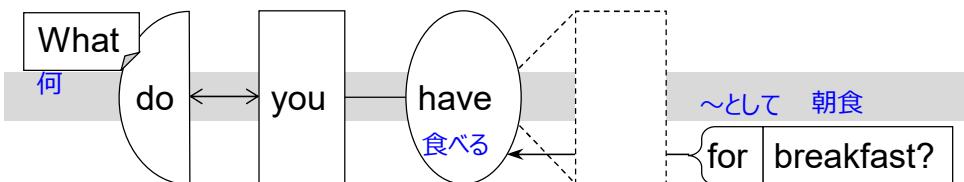
## ◆ No. I walk to school.

いいえ。私は学校へ歩いて来ます。



## ◆ What do you have for breakfast?

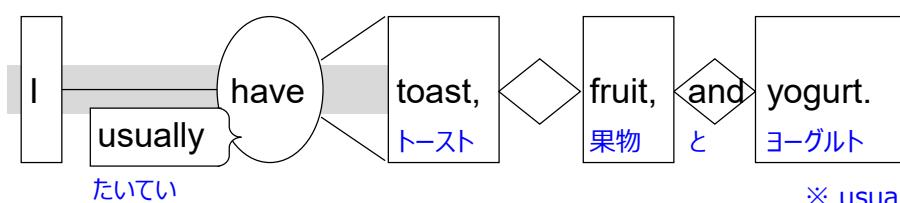
あなたは朝食に何を食べますか。



- ※あるものが何かを質問するには、
- ① : 聞きたい部分を **what** に換えて文の始めに置き、
  - ② : 質問する文の語順にする。
- (be動詞以外の文なら“do”を主語の前に入れる)  
 ※ for ~ : {相当} ～として； {空間} ～に向けて  
 例 : leave for Tokyo

## ◆ I usually have toast, fruit, and yogurt.

私はたいていトーストと果物とヨーグルトを食べます。

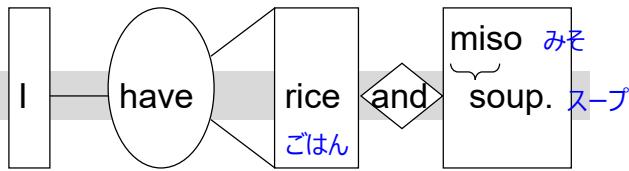


- ※ usually などで行動の頻度を説明する場合、動詞の前に置く  
 但し I am always happy.など状態の頻度を説明する場合は、  
 動詞 (be動詞) の後に置く  
 ※ A and B : A と B  
 3つ以上を並べる場合は A, B, and C などと書く

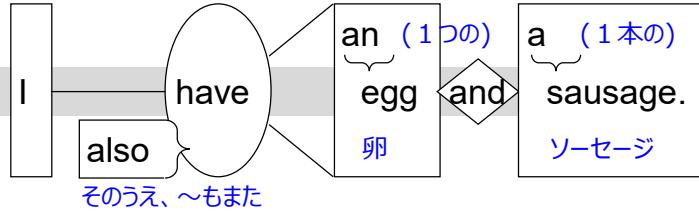
◇ How about you? あなたはどうですか。

※ How about ~? : ~についてはどうですか。

◇ I have rice and miso soup. 私はご飯とみそ汁を食べます。



◇ I also have an egg and a sausage. 私は卵とソーセージも食べます。



※ an ~ : a ~と同じ意味 ~が母音で始まる場合は an にする  
 ※ a ~ : {人・物(単体)の一般名・種類を言う時\*} (1つの)～  
 \* 単体について実物を特定しないで「～」と言う時

◇ Sounds nice! (それは) よさそうに聞こえます！ → いいですね！



※ sound : 主語がある状態に聞こえる、つまり「主語 = ある状態」と be動詞文のような文を作っている